



amuca[®]



漁師町の歴史と文化に価値を宿したい。

この度はamuに興味を持っていただき、誠にありがとうございます。

私たちが拠点にする宮城県気仙沼市は長い間、漁師町として栄えてきました。気仙沼には昔から、漁船に燃料を補給する「あぶら屋」獲ってきた魚を箱詰めして冷やす「はこ屋」「こおり屋」があります。まちの多くの商売が漁業に紐づいており、だからこそ全員が心から大漁を願っています。大漁を祈願しながら出港を見守る“出船送り”には“漁師町”気仙沼が詰まっています、漁業によってまち全体が繋がっていることを感じることができます。

気仙沼だけではありません。日本には2,700以上の漁港があり、それぞれのまちに漁業を中心とした歴史と文化があるはずです。こうしたまちのアイデンティティに、価値を宿していきたい。そんな想いをもとに、私たちamuは漁業を下支えしている漁具の再資源化に挑戦しています。

漁師の物語がつまった漁具を、ワクワクする素材へと生まれ変わらせる。その過程をみなさんと共に楽しんでいけたら幸いです。

amu株式会社 代表 加藤 広大



1. 私たちについて

- ・ 会社概要 ... 6
- ・ ボードメンバー ... 7
- ・ amuのビジョン・ミッション ... 8
- ・ ミッションストーリー ... 9

2. amucaについて

- ・ ブランド概要 ...12
- ・ amucaが取り組む課題 ...13
- ・ 取り扱う素材と特徴 ...14
- ・ ご提供サービス ...15
- ・ amucaを使うことの価値 ...16
- ・ amucaの使用用途 ...17
- ・ amucaの素材一覧 ...18
- ・ お問い合わせ ...19

私たちについて

Hello!

We are amu.

はじめまして、amu株式会社です。



Company Profile

会社概要

商号	amu株式会社
設立	2023年5月
代表者	加藤広大
所在地	宮城県気仙沼市南町2丁目2-25
出資元	ANRI株式会社/UBE株式会社/ 株式会社ANOBKA



Board Member

ボードメンバー



加藤 広大 Kodai KATO
代表取締役社長

二松学舎大学文学部在学中、(株)Gaiaxにて「TABICA」立ち上げを経験。大学中退後、当時最年少で(株)サイバーエージェントに入社。AbemaTVの番組プロデューサーを担いTwitter世界トレンド1位3回、チャンネル優秀賞獲得。2019年宮城県気仙沼に移住後、廃漁網アップサイクルに興味をもち事業検証を行う。2023年5月amu(株)設立。



芦原 昇平 Shohei ASHIHARA
取締役

2014年金沢大学地域創造学類卒。島根県海士町に移住し、空き家を改修した宿泊施設を新設するなど複数のプロジェクトの立ち上げに携わる。2019年宮城県気仙沼市に移住。気仙沼DMOマーケティングチームのリーダーを務める。同時に隠岐DMOの運営及びマーケティングチームのアドバイザーを兼務。2023年5月よりamu(株)に参画。



立元 久史 Hisashi TATEMOTO
取締役

2021年京都大学工学部卒。在学中にアメリカンフットボール部のコーチを務める。2021年大手ゼネコン会社で建設現場の施工管理を担当し、宮城県気仙沼市に赴任。その後、2023年に移住。2023年5月よりamu(株)に参画。



谷川 ゆりか Yurika
TANIKAWA
取締役

2017年立教大学経営学部卒。在学中、グローバルスタートアップカンファレンス「Slush Tokyo」でHead of People Operationを務める。卒業後はイベントレジスト(株)に初の新卒として入社し、B2Bイベントプラットフォームのセールスを6年間担当する。2023年5月よりamu(株)に参画。

VISION

いらないものはない世界をつくる。

MISSION

「編むちから」で、地域の新しい1ページをつくる。

■ 私たちの想い

使えなくなった大量の漁具の山。
そして、そのやり場に頭を抱える漁師たち。
日本有数の漁師町・気仙沼で目の当たりにした光景から
私たちamuの事業は生まれました。

使い終えた漁具をルールに従って処分すれば、
経済的に圧迫される。
だからといって、海に漁具を棄てたくなんてない。
そんな漁師たちの葛藤が見過ごされてきた背景には、
『経済合理性がないから』と見て見ぬふりしてきた世の中と
廃漁具をゴミと考える固定観念がありました。

世間の誰もが、そして漁師自身も無価値だと思っていた
廃漁具に新たな価値を見出すことはできないか。
漁師はもちろん、地域や企業と一緒に、
みんなで廃漁具問題に取り組めないか。
そう考えた私たちは、廃漁具を回収し、新たな素材や製品として
生まれ変わらせるビジネスを立ち上げました。

「amu」という社名の由来は「編む」。
一見、無価値と思われるものをアイデアや仕組みで価値あるものへ。
「編纂」のちからを意味します。

いま、日本中の地域が分岐点を迎えています。
希望に向かって進むのか。
人口減少の波に飲まれ衰退していくのか。

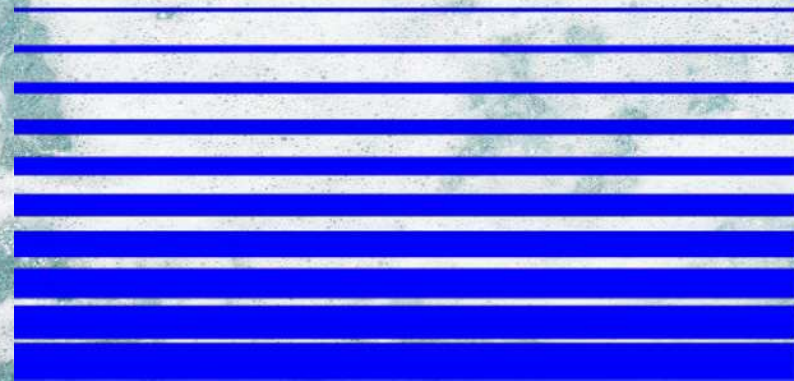
私たちは、その地域にある資源に目を向け、
「編むちから」で新しい未来の1ページをつくりたい。
そして、さまざまな地域で価値の常識をひっくり返し続けることで、
誰もが「すべてのものに価値がある」と思える世の中をつくります。

**「編むちから」で、
地域の新しい1ページをつくる。**

amuca[®] (アムカ) について

海と生きるマテリアル

amuca[®]



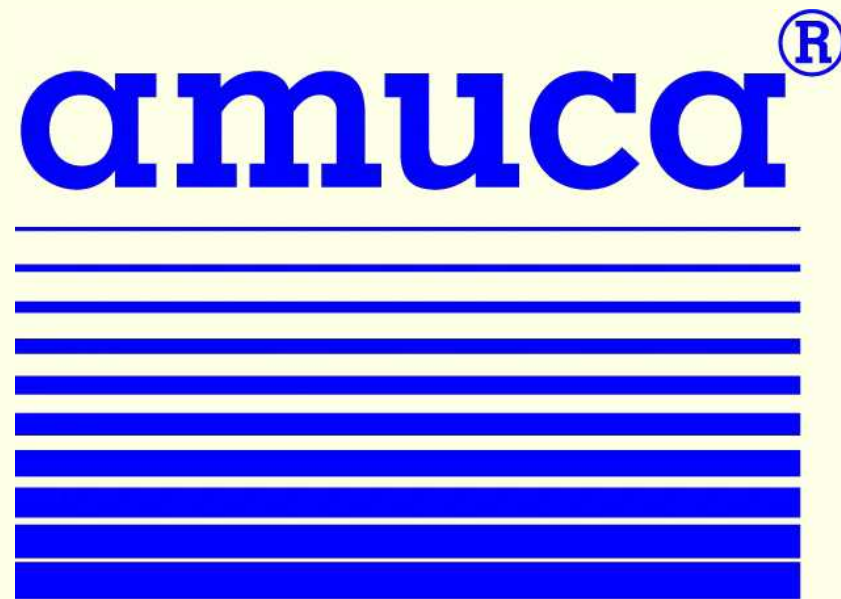
amuca[®]（アムカ）は、 amu株式会社取り扱い 廃漁具から生まれた素材ブランドです。

私たちは全国の漁港を巡り、“産業廃棄物”である廃漁具を“原料”として買い取る活動を行っています。それらを分別・加工し、再び素材として蘇らせたものがamuca[®]です。

バージン素材同等の品質を誇るナイロン素材をはじめ、ポリエチレン、ポリプロピレン、ポリエステルなど漁具由来のさまざまな素材を販売しています。

ナイロン素材においては、リサイクル素材の配合率やご提供する素材の形式（ペレット、繊維、生地）など、ご希望に合わせたオーダーメイドが可能です。

※現在、オーダーメイド対応可能な素材はナイロン6になります。



漁具から、 価値の常識をひっくり返す。

日本の海岸に漂着している海洋プラスチックごみのうち、漁業関連ごみが質量ベースで59.5%を占めていると言われています。※
だからこそ私たちの活動は、全国の漁港を巡り廃漁具を買取・回収することからはじまります。回収した廃漁具を素材として生まれ変わらせることに加え、その漁具がどの地域でどんな漁業に使われたのか、漁具が持つストーリーを紡いでいくことも私たちは大切にしています。

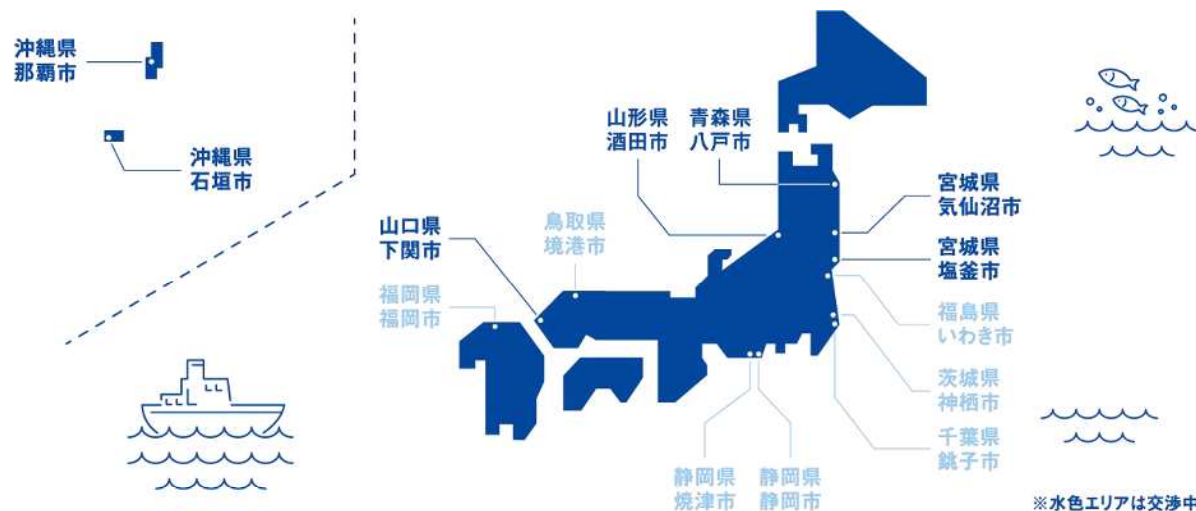
また、私たちはamuca®を用いて地域の特性に合わせた企画や商品化なども行っています。漁業を営むまちで暮らす人々が、そのまちに誇りを持てるようになることにも、私たちは貢献したい。

今は“やっかいもの”かもしれない漁具を、amuca®として“未来の資源”にする。漁具から、価値の常識をひっくり返していきます。

※環境省 海洋ごみをめぐる最近の動向



現在の回収エリア



amucca[®] NYLON6

#ナイロン

化学メーカーと協業し、回収した廃漁具からケミカルリサイクル※によって高品質なナイロン6原料モノマー（εカプロラクタム）を生成しています。100%漁具由来にもかかわらず極めて純度が高く、**バージン素材と同等の品質**であることが特徴です。ナイロンの原料から取り扱っているため、**ペレット、繊維、生地など**ご希望に合わせて幅広いロットで提供することが可能です。バージン素材とリサイクル素材の混合率も調整できます。

※ケミカルリサイクルとは、廃プラスチックを化学的に分解するなどして原料として再生する手法です。

amucca[®] PA/PP/PE/PET

#ナイロン #ポリプロピレン #ポリエチレン #ポリエステル

回収した廃漁具からマテリアルリサイクル※によってペレットを生成しています。主に**射出成形**（金型に流し込んで形をつくる）として利用が可能です。

※マテリアルリサイクルとは、廃プラスチックを溶解して原料として再生する手法です。



1. オーダーメイドによる素材の販売

ナイロン原料から取り扱っているため、バージン素材とリサイクル素材の配合率や、素材の種類（ペレット、繊維、生地）など、コストや商品に合わせたオーダーメイド対応が可能です。また、日本全国から廃漁具を定期的買い取っているため、様々なロットに合わせた素材のご提供も可能です。

2. 商品開発／販売の支援

素材の販売だけでなく、リサイクル素材を用いてこういった商品をつくるか？企画・開発まで並走することも可能です。また開発した商品には、素材の品質や透明性を保証する「amuca®タグ」を使用することができます。商品購入を検討されているお客さまに amuca®というリサイクル素材の価値を伝えることができます。



■ amuca®を使うことの価値

amuca®を使用することは様々な価値創造に寄与します。

サステナビリティ

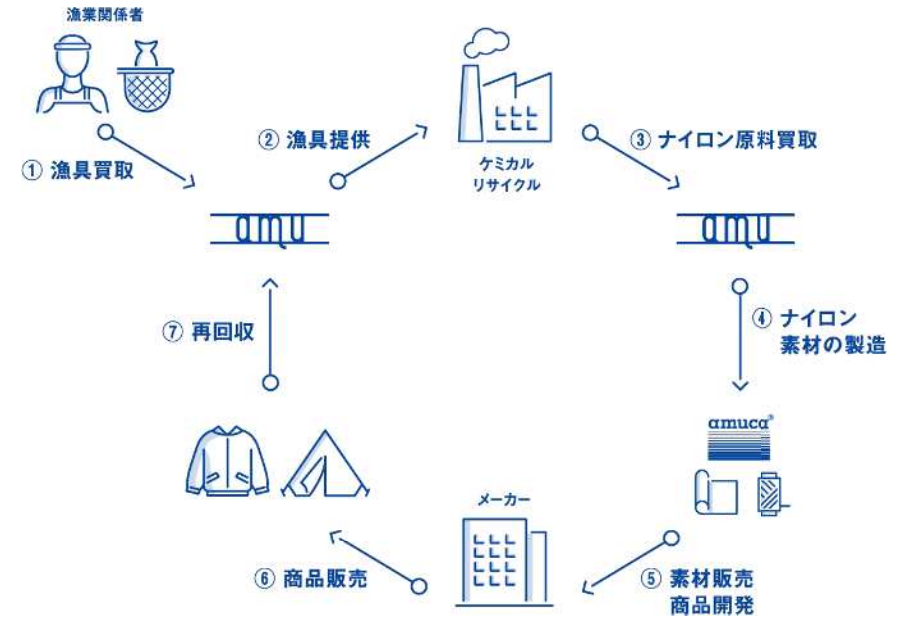
- 海洋保全：海洋プラスチックゴミ問題の主たる原因である廃漁具を有効活用することで、より良い海洋環境づくりと持続可能な資源の確保に貢献します。
- 生物保全：海に流れる漁具を減らし、廃漁具が海洋生物に危害を加えるゴーストギア問題の減少に貢献します。
- 雇用創出：就労継続支援施設と協業し、回収した一部の漁具の分別作業による雇用を創出します。

トレーサビリティ

全国の漁港を巡り直接漁具を回収しているため、どの地域で回収した廃漁具を使用しているか、透明性を担保します。また将来的には「amuca®タグ」に記載されたQRコードから集積地域、漁具提供者、回収量などを見える化していきます。

サーキュラーエコノミー

ケミカルリサイクル素材である「amuca® NYLON6」では、素材を使用した商品を再回収し再びナイロン原料の元として活用するサーキュラーエコノミーを実現しています。



amuca®の品質を活かして 幅広い製品に使用できます。

特に「amuca® NYLON6」はバージン素材と同等の高品質ナイロン素材のため、幅広い製品に使用することが可能です。製作されたいものに合わせて、提供する素材や物性、ロットなど対応させていただきます。まずはお気軽にご相談ください。



Tシャツ



傘



レインパーカー/
ポンチョ



バックパック



ジャケット



トートバッグ
(エコバッグ)



キャンプチェア



ブルゾン



ビーチサン/
ギョサン



テント



帽子



ボードゲームの駒



スマホケース



メガネフレーム



食器
(コップ、皿)



漁具

素材の種類	ナイロン6 (ケミカルリサイクル品)	PA (マテリアルリサイクル品)	PP (マテリアルリサイクル品)	PE (マテリアルリサイクル品)	PET (マテリアルリサイクル品)
物性	◎	○	○	○	○
用途	ペレット 繊維 生地 射出成形 押出成形 ブロー成形	射出成形 押出成形 ブロー成形	射出成形 押出成形	射出成形 ブロー成形	射出成形
トレーサビリティ	◎	◎	◎	◎	◎
サーキュラー エコノミー	◎	○	○	○	○
amucaタグ	◎	◎	◎	◎	◎

最後までご覧いただきありがとうございます。

amuca[®]は日本の漁業のあり方を変える、可能性と希望に満ち溢れた素材ブランドです。
ぜひみなさまと一緒に、amuca[®]を用いた商品開発など新たな価値創造をしていけたら光栄です。
少しでもご興味をもっていただけたら、ご相談・お見積りなどお気軽にご連絡ください。

▼メールでのお問い合わせ
amu株式会社 info@amu.co.jp

▼フォームからのお問い合わせ
<https://www.amu.co.jp/>
右記QRコードからもお問い合わせいただけます





Looking forward to collaborating with you.

みなさまと共に歩める日を楽しみにしています。